

東日本大震災 町の対応・今後の対策は

富谷町議会全員協議会質疑

5月16日議会全員協議会が開会されました。協議事項は「東日本大震災に伴う町内の被災状況等について」です。

各会派と個人が事前に町に対し質問、意見をまとめ提出しました。その数は100件をこえるものでした。

全員協議会で町は被害状況と対策について、資料に基づき説明を行いました。その後議員からさらに質問、意見が出されました。



▲ 復旧工事中の議場

避難所の利用状況は

Q 町指定避難所21カ所のうち12カ所だけ使用となっているのはなぜか、詳細説明を求めます。

A 使用していない所もありました。開設したところは、公民館6カ所、小学校3カ所、中学校1カ所です。成田中学校にも避難していた人がいましたが、危険と判断したため公民館に移動しました。

危険ブロック塀除去は

Q 危険ブロック塀の高さ1m未満は、除却助成の対象外となっていますが、町は危険ブロック塀の総点検をし、早急に撤去を進める対応が必要だと思えますがどうですか。

A 高さ1m未満のブロック塀は、倒れても路側帯までこないのです、人的被害にならないだろうとの判断で1m以上の基準を設けました。総点検をしていて、宅地側に倒

れたブロック塀は、現在調査中です。公道に面したところはパトロールしています。

大型発電機導入の検討とは

Q 大型発電機導入の検討について説明を求めます。

A 今回の停電時に燃料販売店と相談したところタンクローリーの中にある燃料は即時提供可能、地下タンクは汲み上げに電気が必要で、そのための発電機があれば供給可能とのことでした。また、精米機も稼働できるものとして、大型発電機の必要性を検討します。

備蓄倉庫の補給は

Q 備蓄倉庫の補給はできていますか。

A 備蓄食料の数量に根拠があり、宮城県で想定される被害報告に基づいて、富谷町の避難者数の3日分を算定し、町として8100食程度を19カ



▲ 太子堂地区の道路復旧工事

所の備蓄倉庫に分配して配置してあります。今後、備蓄倉庫の食料補給をしていきます。

高齢者への援助は

Q 要援護者ガイドライン以外の人も、大変な

思いをして家にいた人がいると思います。その人たちの食料などの援助はどのように行われましたか。

A 一般の方々など、要援護者としてガイドラインにない人については、町内会や近所の見守り、

民生委員の訪問を確認しています。今回公助はもとより自助もありますが、共助というところが非常に大切だと感じ、課題があると思います。

他自治体からの被災者受け入れ状況は

Q 被災家族実態把握で

避難者情報システム運用により26件の届出がありますが、富谷町の行政サービスの情報提供はどのようになっていますか。

A 住民票を移してきた人は町民となるので町のサービスは全部利用できます。被災して一時的に家族、親族を頼って来た人には、町民バスの無料カードの配付や、運動ができるように武道館のトレーニング室の無料開放などを検討しています。その他公民館等のサービス情報をお知らせする準備をしています。

避難児童への就学援助は

Q 当町に避難してきた児童生徒への就学援助費等の経済的支援は考えていますか。

A 就学援助は、基本的には住所がある自治体が行うことが原則です。当町に住所を移してきた児童生徒は当町が援助します。住所を元の自治体に置いたままの児童生徒の援助については、検討しているところです。町としてやれるところは最大限努力します。

二次避難所や仮設住宅の提供計画は

Q 二次避難所や応急仮設住宅の提供は考えていますか。

A 県には、西成田コミニュティーセンターを二次避難所として、また、応急仮設住宅の建設場所に、ひより台二丁目の町有地の提供を申し出ています。現段階では県からの要望等はありません。

**震災復旧の原資に
議会経費を返上**

富谷町議会は、東日本大震災の甚大な被害から一日も早い復旧復興を願うものです。

議会としてできることを検討し、議員全員が復旧の原資にと次のことを決定しました。

○毎年実施している宿泊を伴う各常任委員

会の視察調査を行わない。
期間：平成24年3月まで

削減額：144万円
○会派、個人に支給されている政務調査費の申請を行わない。

期間：平成23年9月任期満了まで
削減額：162万円

**富谷町議会議員選挙
9月11日に決定**

東日本大震災の影響で、適正に選挙が実施できないという理由で延期されていた富谷町議会議員選挙について

て、政令により選挙期日が決定され、9月6日告示、9月11日投票と決まりました。

決議・意見書を採択しました

東北地方太平洋沖地震による 災害復旧・復興に関する決議

平成23年3月11日午後2時46分に起こった未曾有の巨大地震「東北地方太平洋沖地震」は、三陸沖を震源とし、マグニチュード9.0で、宮城県栗原市で震度7、宮城県、福島県、茨城県、栃木県で震度6強など広い範囲で強い揺れを観測し、富谷町は震度6弱を記録しました。

この大地震と大津波は、本町を含む県内各所で甚大な被害をもたらし、地震による死者・行方不明者は2万人以上、建築物の全壊・半壊は合わせて18万戸以上、ピーク時の避難者は40万人以上で、今でも10万人の方々が不安を抱えながら避難生活を強いられています。加えて原発事故も誘発され、憂慮する事態となっています。

本町議会は、ここに、震災で亡くなられた方々に衷心よりご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

また、震災発生直後から、町民の皆様をはじめ多くの団体や他自治体及びボランティアの皆様などからのご支援に、心から感謝を申し上げます。

本町議会は、一日も早い復旧・復興と被災者の生活が再建できるよう最善の努力を傾注し、被災された町民の皆様の生活の安定に取り組むことを表明する。

以上、決議する。

平成23年6月10日

宮城県富谷町議会

議会を傍聴 しませんか

次回の定例会は9月下旬
の予定です。

詳しくは議会事務局へ
お問い合わせください。

TEL 358 - 0622

東京電力福島第一原子力発電所事故の一刻も早い収束と放射能汚染から国民を守る対策の強化、再生可能エネルギーの研究・開発・実用化を求める意見書

3月11日午後2時46分、三陸沖でマグニチュード9.0の大地震が発生し、巨大津波が東日本の太平洋沿岸地域を襲い、未曾有の大被害をもたらしました。

この震災は、地震・津波での人命や建物の被害だけでなく、絶対安全と言われてきた原子力発電所の放射能漏れの事故が発生しました。

福島県双葉郡大熊町・双葉町にまたがる東京電力福島第一原子力発電所は、地震と津波による被害を受け、全電源を喪失し、原子炉の冷却ができなくなり、大量の放射性物質の放出を伴う重大な原子力事故になりました。

原子力発電所の放射能漏れによって、原発から半径20km圏内の避難指示、20kmから30km圏内の自主避難指示が出されるなど、住民は避難を余儀なくされました。放射性物質の拡散は、原発近隣に留まらず、ほうれんそうなど野菜類への放射能汚染、上水道への汚染など、福島県のみならず、関東圏にも及びました。

また、農産物や原乳からの放射性物質の検出などから、放射性物質が微量で、安全である数値であっても、また、汚染が全くないものでも、入荷停止や買い控え、それに原発から遠く離れているにも関わらず、観光地の宿泊のキャンセルなど風評被害が出ました。

今回の原発事故は、収束の目途がつかず、また、事故の状況や放射線測定数値の公表が一部されないなど、国と東京電力の対応に国民の不信と不満が蔓延しています。

特に、放射線は小さい子どもは影響を受けやすく、東北・関東圏で幼子を持つ母親にとって、心配な日々が続いています。

よって、政府におかれては、東京電力福島第一原子力発電所事故の一刻も早い収束と放射能汚染から国民を守る対策を強化するよう求めます。

また、地球温暖化の原因であるCO₂を排出する化石燃料など、将来枯渇すると考えられるエネルギー源からの脱却を図るために、太陽光発電等の高効率化・低コスト化や水素系エネルギーなど、安全でクリーンな再生可能エネルギーの研究・開発・実用化に全力を注ぎ込むことを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

平成23年6月10日

宮城県富谷町議会

〔提出先〕

内閣総理大臣 菅 直人ほか



市川壽藏議員



高橋敏夫議員



永野久子議員

2月9日、全国町村議会議長会より本町議会から3人が表彰を受けました。

町村議会議員27年以上在職、長期在職功勞者として永野久子議員、町村議会議員15年以上在職者として市川壽藏議員、高橋敏夫議員です。

市川議員と高橋議員は、2月16日に宮城県町村議会議長会からも15年以上在職者として表彰を受けました。

地方自治の振興発展に功勞があったと認められたものです。



全国町村議会議長会
宮城県町村議会議長会

自治功勞表彰

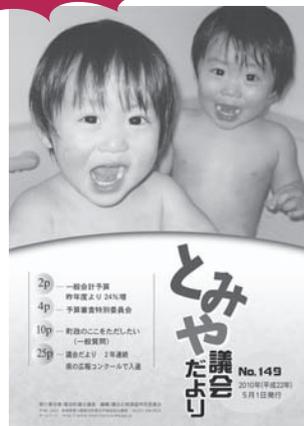
とみや議会だより 全国コンクール 奨励賞

県町村議会議長会 議会広報選考会 3年連続 入選

43都道府県の204町村議会が参加して行われた第25回町村議会広報全国コンクールにおいて、本町の議会だより第149号が奨励賞を受けました。

また、第30回宮城県町村議会広報選考会においても入選しました。宮城県町村議会広報選考会では3年連続の入選です。

町民の皆さんに感謝するとともに、今後もさらに読みやすく、親しみやすい議会だよりを目指し努力していきます。



議会の情報は
ホームページでも見られます。

富谷町公式ホームページ URL
<http://www.town.tomiya.miyagi.jp>
富谷町公式ホームページからリンクします

3.11 そのとき

3月11日発生の大地震、保育所の子どもたちの安全に心をくばり、保護者に引き渡すまでの様子と思いを富谷保育所、成田保育所の所長に語ってもらいました。

富谷保育所

普段と変わりなく、お昼寝から目覚めたころの突然のできごとでした。

大きな地鳴りとともに激しく揺れだし、棚の物が音を立てて落ちる中、子どもたちの安全を守るため「こわくないよ」「大丈夫、大丈夫」と布団で覆いながら必死に励まし続けていました。先生が守ってくれているという安心感からか、誰一人として泣く子どもなく外に無事避難できました。

小雪がちらつき始め、寒さが一層増してきたので、ブルーシートで簡易テントを設置し、みんなでおやつを食べると、心もお腹も落ち着きほっとできました。

余震が続くので、職員の手を所庭にいれ、暖をとりながらお迎えを待ち、午後6時半ころには全員引き渡せました。

何より子どもたちが無事であったことに、深く胸をなでおろしました。

所長 八巻恵美子

成田保育所

明日が修了式という日の前日、115人の子どものうちがクラスごとに昼寝をしている時でした。

ずっと続く大きな揺れに、眠っていた子どもたちも起き出し、布団をかぶせたり、パジャマの上に着せたり、トイレに行く時は防災頭巾をかぶせました。

いつも避難訓練をしているせいかな泣いたり、不安がる子どもはほとんど

見られませんでした。時間がたつにつれ、お迎えが次々と来て、子どもたちの顔を確認して安心していました。

所長 鈴木美智子

次号表紙 ふたごちゃんの 写真募集

(平成23年11月1日発行予定)

(応募要項)

①題材…
「就学前の双子」

(三つ子も可)

②応募〆切…

平成23年10月3日(月)

(消印有効)

③作品は未発表のものであり、他に発表予定のないものに限ります。

④カラー写真(アナログ

写真・デジタル写真どちらも可)加工は不可

サイズは紙焼プリント

2Lサイズ以上

⑤採用作品の版權・使用

権は富谷町議会に属します。なお、作品の返却はしません。

※その他詳細についてはお問い合わせください。

今号の表紙

たくさんのお応募
ありがとうございました。



中鉢 ^{かなと} 奏音くん(兄/左)・^{りんと} 凜音くん(弟/右)
(平成19年8月28日生まれ)《上桜木》

ニコニコツインズ、
スクスク成長中です!!

編集後記

6月定例会は、平成23年度補正予算が主なもの、歳出は道路災害復旧費、震災対策として雇用の創出など東日本大震災に関連する復旧費などです。

今議会では、国保加入者の負担軽減を図るための税率の引下げ、子ども医療費助成を拡大し、10月1日から「通院は小学3年生まで、入院は小学3年生まで」の医療費を無料とすることも決定しました。

大震災の影響で延期されていた富谷町議会議員選挙は9月6日告示、9月11日投票に決まりました。

原発事故の影響で節電の要請があります。猛暑の夏、熱中症にならないよう、体調管理に十分配慮してお過ごしください。今後も読みやすい紙面づくりに努力していきますので、ご愛読をよろしくお願いいたします。

広報委員 磯前 武